

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		スポーツ振興事業費 [ロードレース大会]									
予算科目	款 10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	事業番号	3			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育		課		生涯学習		係	課長名	高田		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 5		
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進								総合計画書 (ページ)	43		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 小学4年生以上(市内在住、在学問わず)				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 参加者数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 陸上競技を通して、スポーツをすることの大切さや楽しさを感じてもらう。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加者の満足度を高める。						
	→										
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。 ・大会の適切な運営 ・実行委員によるホームページ等の更新 ・市内小中学校への広報 ・市内外関係各所への広報 ・当日の役員配置による安全確保 ・傷害保険への加入				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 左記を全て実施						
	→										
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	639	618	590					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方											
3 経費	活動指標		③の数値	回	1	1	1				
	事業費(実績)		円	2,390,533	2,440,439	2,232,937	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,366,166	1,387,439	1,116,937					
		特定財源	円	1,024,367	1,053,000	1,116,000					
		(うち受益者負担)	円	341,600	333,000	317,300					
人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3						
	所要人数(再任用)	人	0.3	0.3							
	職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,473,200	2,493,000						
	職員人件費(再任用)	円	892,200	905,700							
事業費+人件費		円	5,762,833	5,819,339	4,725,937						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和40 年頃										
	(2) 環境の変化 開始当初は、子どもを対象とした事業であったが、別に陸上競技協会が実施していた大人対象の事業と合併し、幅広い世代からの参加が得られる大会になっている。 第47回大会からは、参加者の範囲を市外にも広げ、記録計測も業者に委託し、ICチップによる記録計測やインターネット受付を実現することで、業務の効率化を図った。 なお、開始当初は無料であった参加費を徴収することとし、大会運営費の一部として受益者負担となっている。										

事業名称	スポーツ振興事業費 [ロードレース大会]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	毎年、多くの参加者が来場し、好評を得ている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：②実行委員会、③事業協力（陸上競技協会、体育協会、交通安全協会）		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
実行委員、協力団体、従事者等からの意見を取り入れながら、さらに魅力を高めた大会となるよう工夫する。				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	①障害者の方が参加しやすくするための大会運営改善 ②交通規制に係る事前周知の改善			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	伴走が必要な参加者にも、安全に競技に参加してもらうため、伴走者用のビブスの用意した。 また、事前に伴走者を伴う参加者を確認し、大会従事者に周知することで、スムーズに大会運営できるようにした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
障害者でも参加しやすい大会であることをPRし、障害の有無に関わらず理解が深まるよう工夫する必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： スポーツ・レクリエーションの推進				
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】			
	参加実績のある特別支援学校等から、障害者の視点にも配慮した大会運営ができるよう改善点等を確認し、反映させる。 交通規制については、東大和警察からの意見を元に、十分に安全を確保する。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
適切な案内看板の設置等を検討する。				